

## 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会セッション

「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」活動報告 —廃炉の安全・円滑な実施に向けて—

**(5) 放射性廃棄物管理シナリオの分析について**

(5) Analysis on Radioactive Waste Management Scenarios

\*柳原 敏<sup>1</sup><sup>1</sup> 廃棄物検討分科会主査 福井大学

第 11 回福島第一原子力発電所廃炉検討委員会（平成 28 年 5 月 18 日）において廃棄物検討分科会の設置が承認され、福島第一原子力発電所（1F）廃炉等で発生する放射性廃棄物の対策のあり方（放射性廃棄物管理シナリオの分析）についての検討を開始した。検討の内容は、廃棄物発生量の予測と特性評価、廃棄物管理シナリオの想定と分析、廃棄物の処理・管理等に係る知識マネジメントなどから構成される。このうち、廃棄物発生量の予測は、これまでに発生したもの、燃料デブリ取出し作業から発生するもの、廃炉作業から発生するものなど、時系列を考慮する。また、廃棄物管理シナリオは、安全性、経済性、社会的受容性など、様々な観点からの分析が必要であり、作業シナリオに対応して幾つかの廃棄物管理シナリオの想定と分析を実施する予定である。なお、1F 廃炉は長期に及ぶものであり、その間に多くの情報が得られるが、廃棄物管理や処分等に向けて整理・継承すべき情報・知識などについての検討も進める予定である。

---

\* Satoshi Yanagihara<sup>1</sup>, <sup>1</sup> University of Fukui